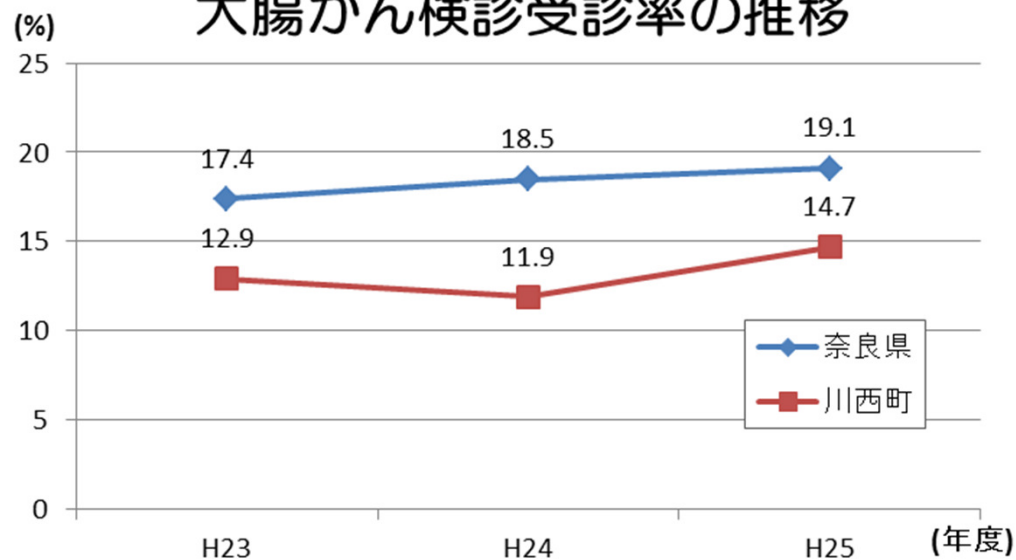


川西町  
大腸がん検診  
コール・リコール

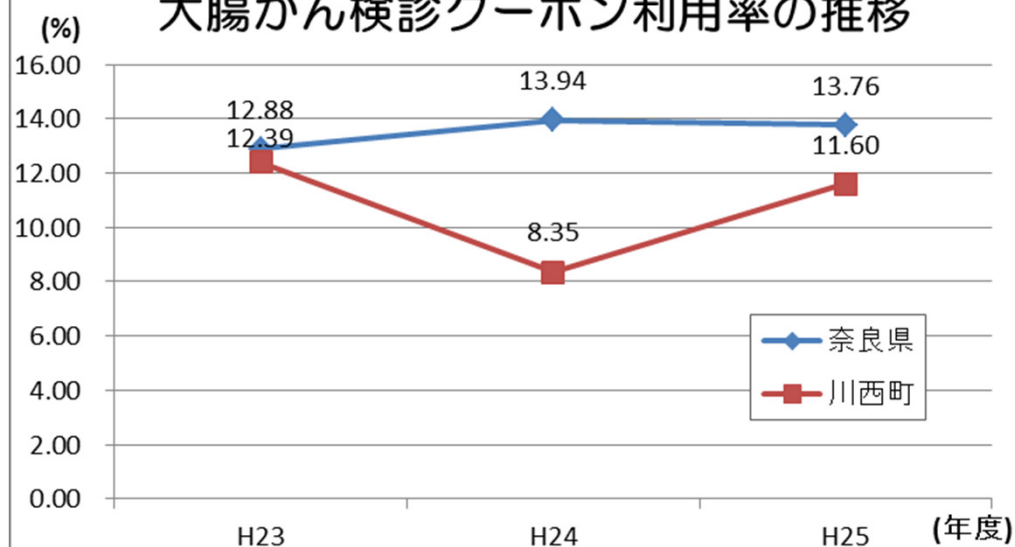


# ●大腸がん検診の状況

## 大腸がん検診受診率の推移



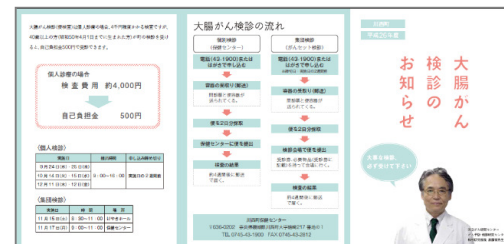
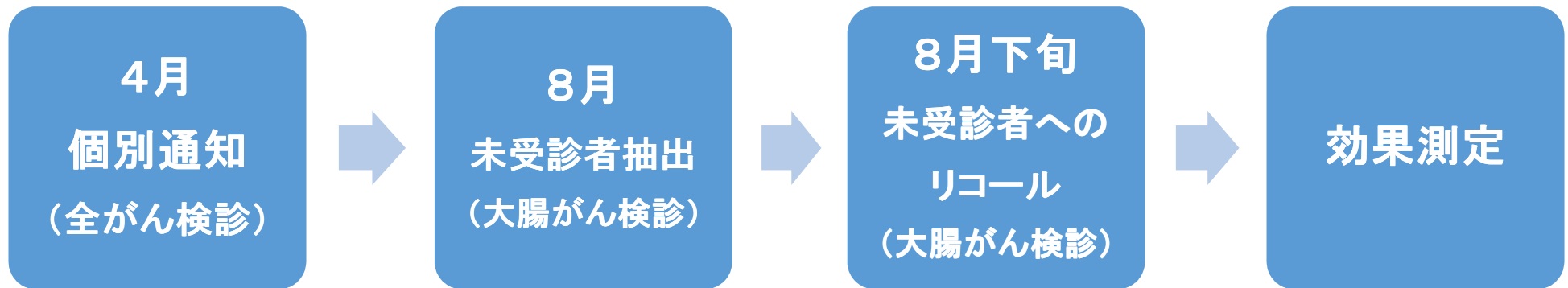
## 大腸がん検診クーポン利用率の推移



# ●大腸がん検診の実施形態

	H26	H25
対象者	40歳以上の男女	
自己負担額	500円（70歳以上は無料）	
個別健診 （保健センターに提出）	7月14日、15日 9月24日、25日 10月14日、15日 12月11日、12日 計 8日間	7月18日、19日 9月4日、5日 12月16日、17日 計 6日間
集団検診 （肺がん、胃がん、特定健診）	6月25日～28日 11月15日、17日 計 6日間	6月20日～22日 11月16日 計 4日間
周知方法	広報 健康カレンダー（全戸配布） 個別受診勧奨・再勧奨	広報 健康カレンダー（全戸配布）

# ●川西町における本事業の流れ



# ● 個別通知

通知に答え

封筒にクイズ

**子宮がん検診**

対象者：20歳以上の女性【隔年受診(2年に1回受けましょう)】  
 自己負担額：2,000円(70歳以上の方は無料です)  
 受診可能期間：平成26年4月1日～平成27年2月28日  
 受け方：お申し込みされた方へ、問診表(受診券を兼ねています。)を送付します。  
 下記の医療機関へ、受診日・時間の予約を行い、検診を受けてください。

検診機関名	住所	電話番号
奈良県健康づくりセンター	田原本町宮古404-7	0744-32-0230
辻クリニック	田原本町546	0744-32-2258
久産婦人科	田原本町十六面23-1	0744-33-3110
さくらレディースクリニック	橿原市上段町528	0744-23-1199
赤崎クリニック	桜井市谷111	0744-43-2468
上田クリニック	桜井市薬師468-18	0744-43-2006
済生会中務院	桜井市岡部323	0744-43-5001
桜井病院	桜井市桜井973	0744-43-3541
内藤医院	桜井市桜井996	0744-42-2138
藤本医院	天理市川原福町704	0743-63-3241
天理市立メディカルセンター	天理市富室町300-11	0743-63-1821
辻村医院	大和郡山形町198-2	0743-52-2718
大和郡山形病院	大和郡山形町1-62	0743-53-1111
林医院	大和郡山形町1-18	0743-52-4021
三福仁美レディースクリニック	大和郡山形町19	0743-51-1135

**がん検診** のご案内

**答え**  
 がんは早期発見をすれば、**90%以上が治ります**

がんは早期発見をすれば、90%以上が治ります。がんは早期発見をすれば、90%以上が治ります。がんは早期発見をすれば、90%以上が治ります。

**質問**  
 がんは早期発見すれば何%以上治るでしょうか  
 答えは同封のパンフレットにあります

がん検診はあなたをまもる大切な検診です

**川西町保健センター**  
 〒636-0202 奈良県磯城郡川西町大字結崎 217 番地の1  
 TEL. 0745-44-2211 (代表)  
 TEL. 0745-43-1900 (直通)  
 FAX. 0745-43-2812

**★工夫のポイント**

①年代、性別でアドバイスをかえることで、個人に訴求できるようにした。

②封筒にクイズをのせることで封書をあけてもらえるようにした。

料金後納郵便  
郵便区内特別

お申し込みは**5月より開始!**  
定員になりたいしめきります

がん検診はあなたをまもる大切な検診です

**川西町保健センター**  
 〒636-0202 奈良県磯城郡川西町大字結崎 217 番地の1  
 TEL. 0745-44-2211 (代表)  
 TEL. 0745-43-1900 (直通)  
 FAX. 0745-43-2812

**★工夫のポイント**

①年代、性別でアドバイスをかえることで、個人に訴求できるようにした。

②封筒にクイズをのせることで封書をあけてもらえるようにした。

# ●年代別・性別でアドバイスを変えて印刷

カテゴリー	文言
40歳男性	40代は、がんが増え始める年代です。40歳代の死亡原因の2位はがんです。がんによる40代男性の死亡数は、1位肺がん、2位大腸がん、3位が胃がんです。がん検診で早期発見をお勧めします。
40歳女性	がんによる40代女性の死亡数1位は、乳がんです。40代女性の2人1人が乳がん検診を受診しています。また、大腸がんも増えてくる年代です。初期のうち、自覚症状がありませんので、定期検診を受けましょう。
50歳男性	50代は、がんが気になる年代です。がんによる50代男性の死亡数は、1位肺がん、2位胃がん、3位が大腸がんです。がんは早期発見によって80%以上が治癒します。がん検診で早期発見をお勧めします。
50歳女性	50代女性は、身体が大きく変わる年代で、がんで死亡する人数も急増します。がんによる50代女性の死亡数は、1位乳がん、2位大腸がん、3位が胃がんです。がんは早期発見によって80%以上が治癒しますので、この機会に検診を受けましょう。
60歳男性	60代をすぎると、がんになる人が急増します。毎年、約12万人の60代男性が、がんになっています。がんによる60代男性の死亡数は、1位肺がん、2位胃がん、3位が大腸がんです。がん検診で早期発見をお勧めします。
60歳女性	60代をすぎると、がんになる人が急増します。特に、肺がんや大腸がんそれぞれ年間約3000人が亡くなっています。がんの初期のうち、自覚症状がありませんので、ぜひこの機会に、がん検診をご受診ください。

# ●再通知（大腸がん検診）

大腸がん検診(便検査)は個人診療の場合、4千円程度かかる検査ですが、40歳以上の方(昭和50年4月1日までに生まれた方)が町の検診を受けると、自己負担金500円で受診できます。



## 〈個人検診〉

実施日	提出時間	申し込み締め切り
9月24日(水)・25日(木)	9:00~16:00	実施日の2週間前
10月14日(火)・15日(水)		
12月11日(木)・12日(金)		

## 〈集団検診〉

実施日	時間	場所
11月15日(土)	8:30~11:00	けやきホール
11月17日(月)	9:00~11:00	保健センター

## 大腸がん検診の流れ



川西町  
平成26年度

大腸がん  
検診の  
お知らせ

大事な検診、必ず受けて下さい



国立がん研究センター  
がん予防・検診研究センター  
検診研究部長 斎藤博先生

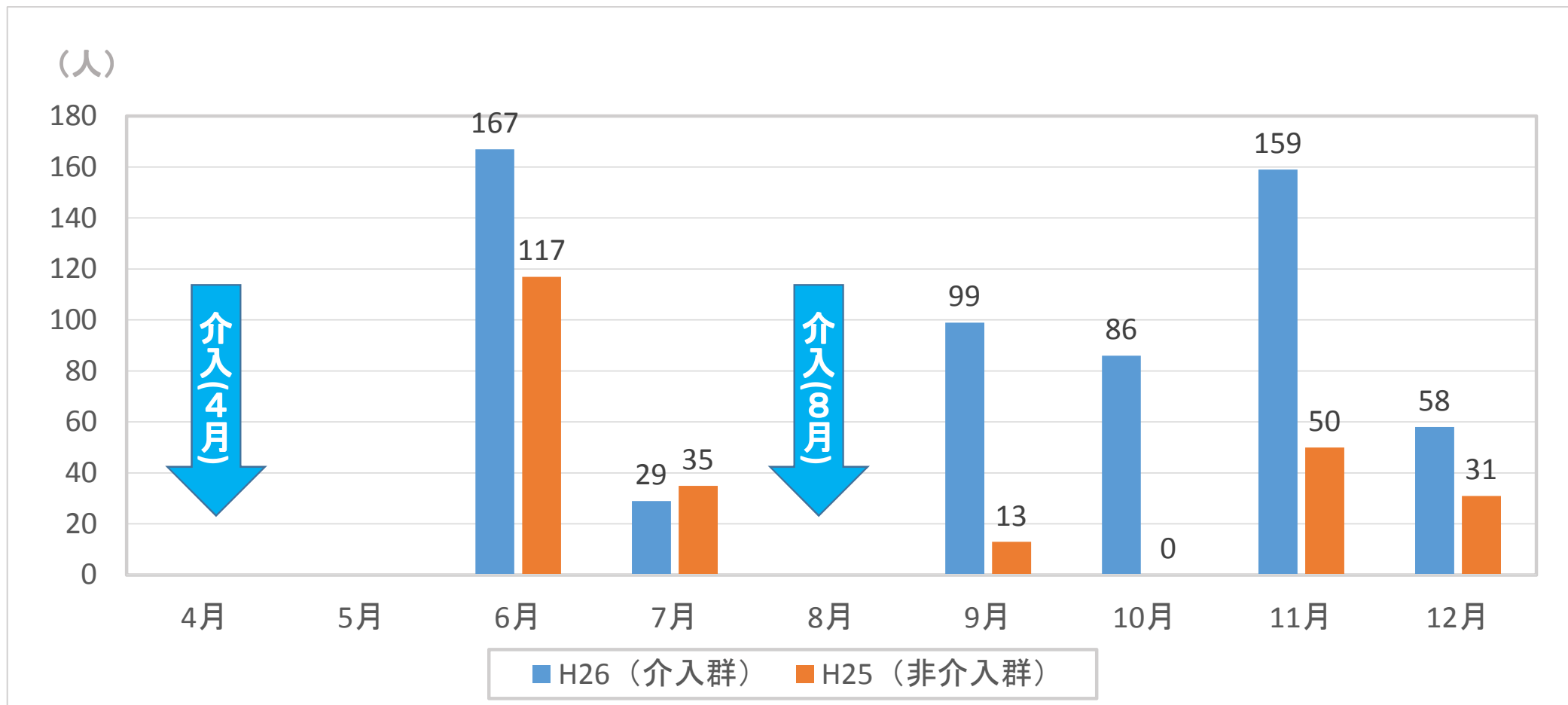
## ● 取組内容

- 4月に40～69歳の男女（3,598人）に、がん検診個別案内を送付した。 **\* 個別案内送付は、今年度が初めてである。**
- 6・7月の検診終了後、大腸がん検診の未受診者を抽出し、国立がん研究センターがん研究開発費「ソーシャルマーケティングを活用したがん予防行動及びがん検診受診行動の普及に関する研究」研究班開発のリーフレットを活用してリーフレットを作成した。
- 3,373人に再勧奨リーフレットと検診申込兼アンケートのハガキを同封し、意向調査を行った。
- 大腸がん検診の受診者を対象に、「がん検診に関するアンケート調査」を実施。



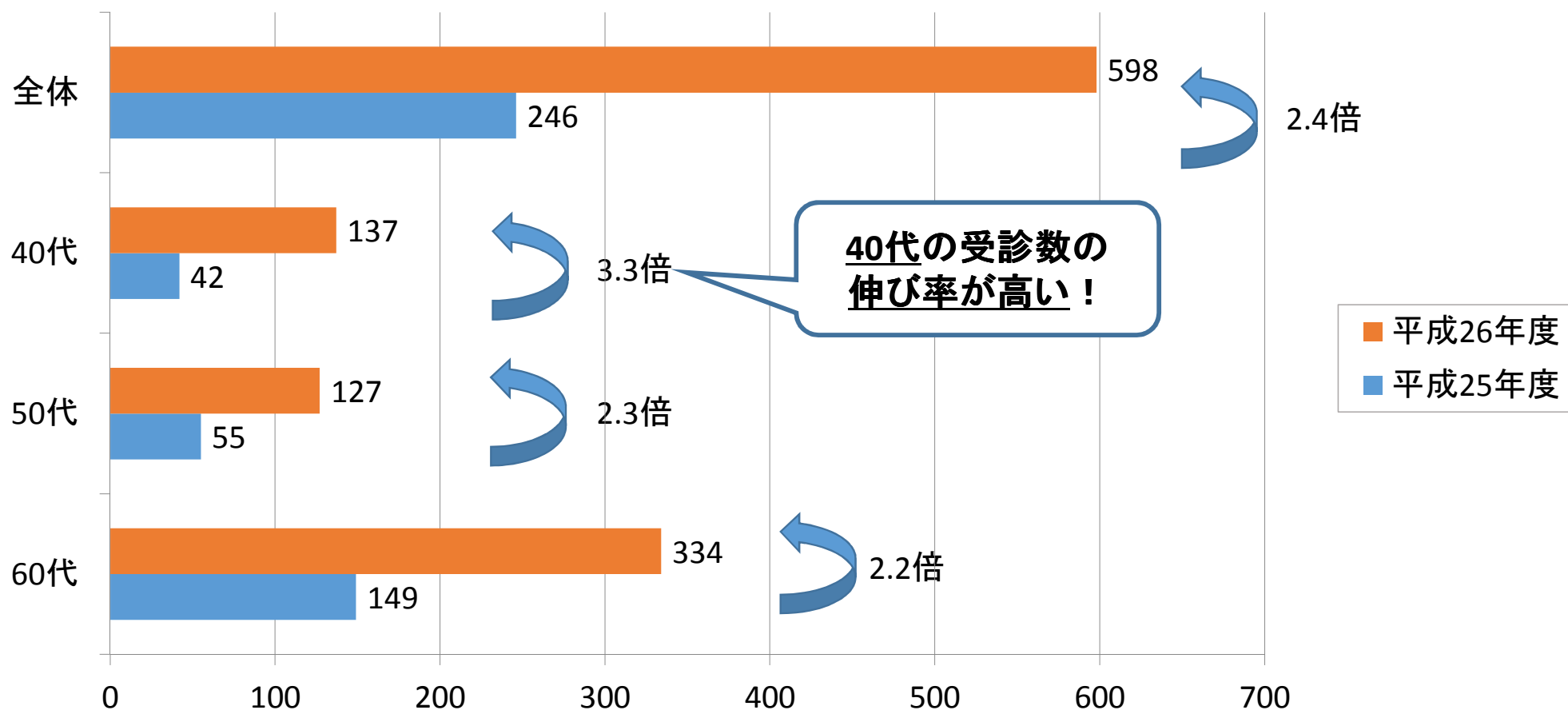
# ● 個別受診勧奨・再勧奨モデル事業取組結果①

## ■ 月間受診者数



# ● 個別受診勧奨・再勧奨モデル事業取組結果②

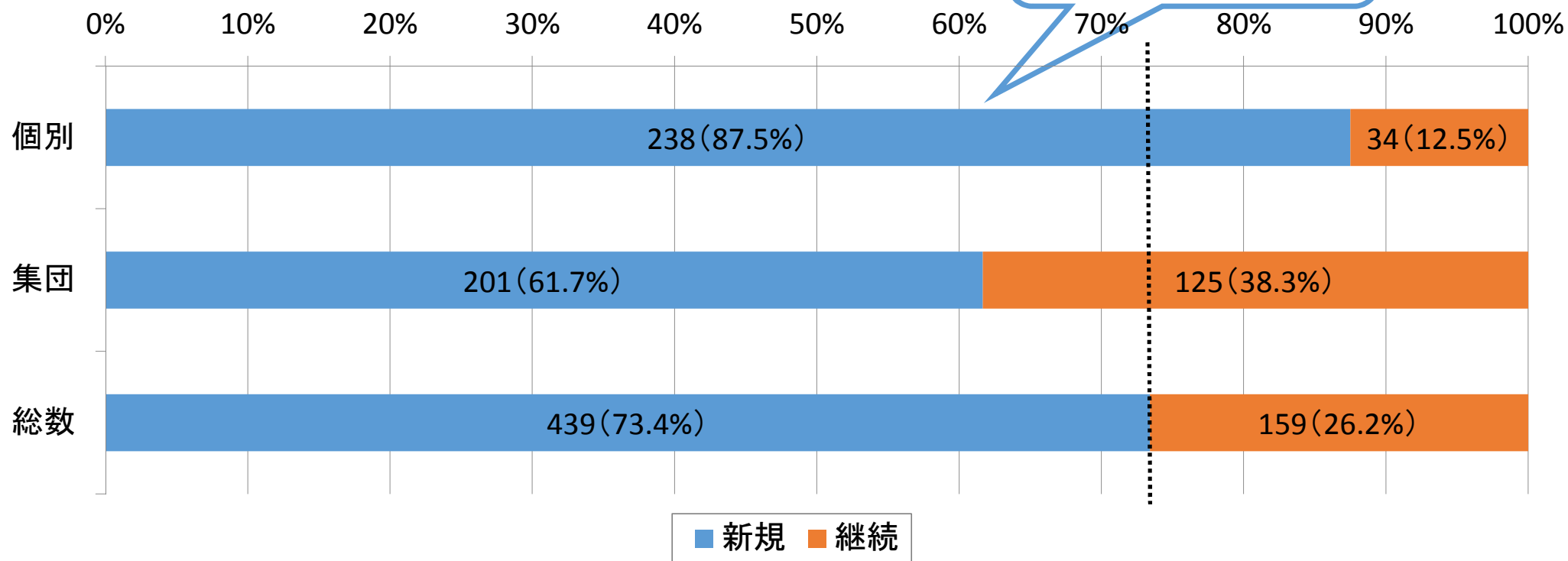
## ■ 年代別受診者数の比較



# ● 個別受診勧奨・再勧奨モデル事業取組結果③

## ■ 個別、集団(セット)検診における新規・継続比較

【個別・集団検診の新規・継続の割合】



# ● 検診申込書 兼アンケート

目的：大腸がん検診の受診意向及び未受診理由を把握する目的で実施。

対象：3,373人

方法：大腸がん検診の再勧奨を通知する際にハガキ（左記）を同封

結果：ハガキの返信（563通）

回収率：16.7%

受診申込み（345通）

未受診理由（218通）

## 川西町大腸がん検診申込書兼アンケート

(1)あなたは、川西町大腸がん検診を受けますか？

1.はい→(2)へ      2.いいえ→(3)へ

(2)申し込み希望日に○をつけてください。受診日の約2週間前に問診票と容器を送ります。

実施日	大腸	胃	肺
9月24日(水)・25日(木)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10月14日(火)・15日(水)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11月15日(土)※		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11月17日(月)※		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12月11日(木)・12日(金)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※胃がん・肺がん検診も同時実施しますので、希望される場合は、○をつけてください。

(3)町で大腸がん検診を受診しない理由は何ですか？  
該当する項目に○をつけてください。

1.自分または家族の職場が提供するがん検診を受けているから

2.人間ドックを受けているから

3.病院で治療中・経過観察中だから

4.その他

a. 妊娠中

b. 施設入所中

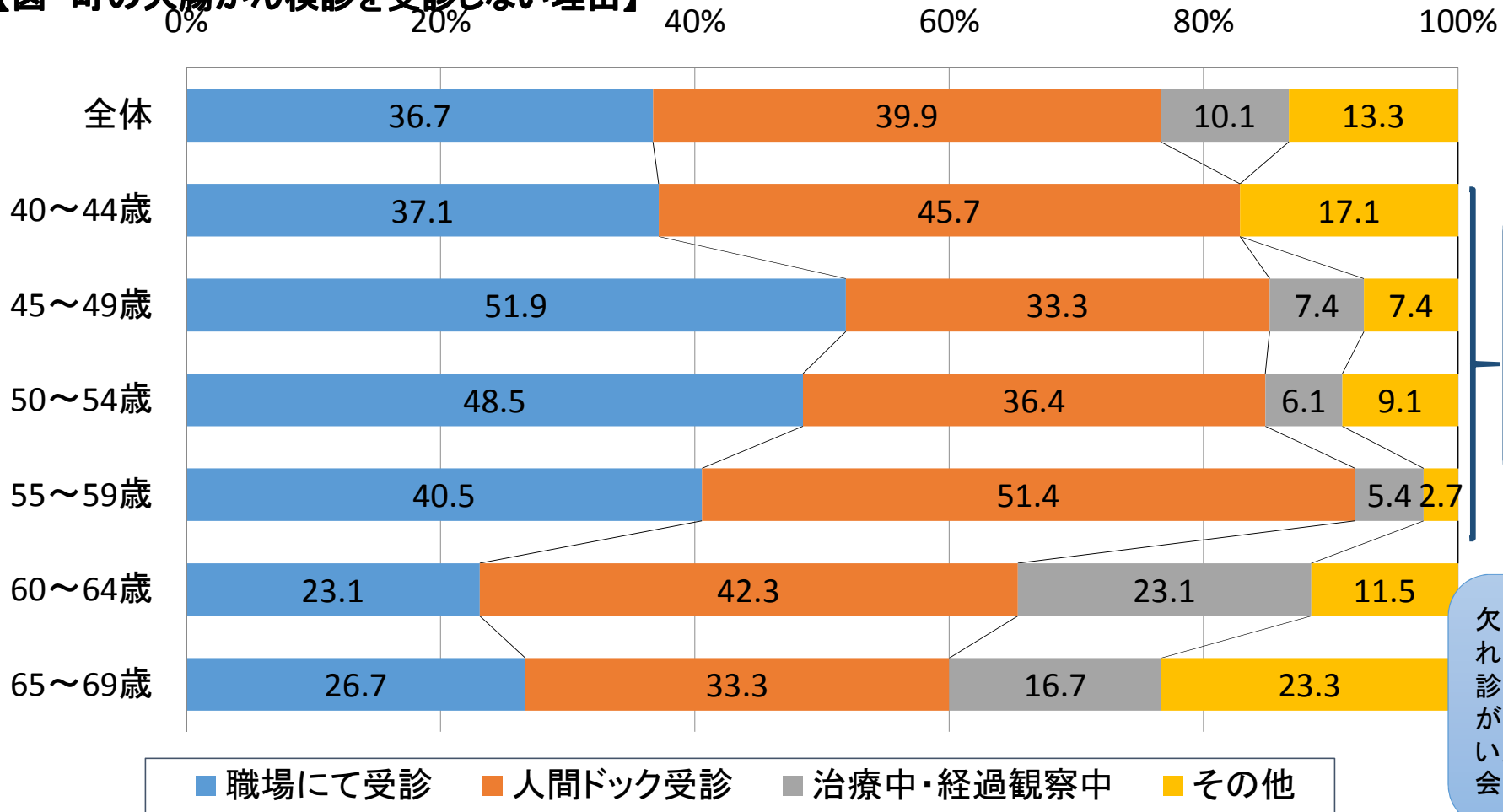
c. 長期入院中

d. その他

( )

# ● 検診申込書兼アンケート 集計結果①

【図 町の大腸がん検診を受診しない理由】



40~59歳の約80~90%は、職場や人間ドックで受診している。

欠診理由を、返信してくれる人は、このように受診(検診)の機会があるが、ハガキの返信がない人は、同様に受診機会があるのか？

# ● がん検診に関するアンケート調査

目的：検診受診につながる周知方法や情報提供に役立てる。  
受診日設定の計画に役立てる目的で実施。

対象/方法：アンケート用紙1 対象者：381人  
6～10月の受診者へ郵送、返信により回収。  
アンケート用紙2 対象者：217人  
11月・12月の受診者に問診表と送付、検体提出時に回収。

内容：①検診の情報を得た周知方法  
②検診を受けた理由  
③がんへのイメージ  
④大腸がん検診の受診間隔の周知度  
⑤受診しやすい月・曜日・時間帯・方法

結果：アンケート1 259人（内容①～⑤） 回収率：68.0%  
アンケート2 214人（内容①～③） 回収率：98.6%

# アンケート用紙1

大腸がん検診を受診した皆さまへ

川西町保健センター

## がん検診に関するアンケート調査のお願い

日頃より、川西町の健康づくり行政にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
この度、川西町では、がんの早期発見・早期治療につながる「がん検診」の受診率向上のため、今年度の受診者の皆様に、アンケートを実施することといたしました。  
つきましては、大変お忙しいところお手数をおかけいたしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答をご記入後、このアンケートを同封の返信用封筒に入れて、1月29日(木)までに郵便ポストに投函してください。また、過去の受診状況などとあわせて分析し、町民の健康づくりに役立てたいと考えておりますので、記名にご協力いただきますようお願い申し上げます。

フリガナ			
氏 名			
生年月日	昭和 年 月 日	性別	男 ・ 女

●該当する数字に○をつけてください。

- 大腸がん検診は何で知り、受けましたか。(複数回答可)
  - がん検診のご案内(4月にご自宅に郵送したもの)
  - 大腸がん検診のお知らせ(9月にご自宅へ郵送したもの)
  - 町のホームページ
  - 広報川西
  - その他( )
- 大腸がん検診を受けた理由をお答えください。(複数回答可)
  - 自分自身の健康管理のため
  - 大腸がんの早期発見のため
  - 大腸がん検診の案内がきたから
  - 町が実施している検診に含まれていたから
  - 家族や友人に勧められたから
  - 大腸がんが気になる年齢になったら
  - 周囲にがんになった人がいるから
  - その他( )

- がんについてどのようなイメージをもっていますか。(1つのみ)
  - こわくない
  - どちらかといえばこわくない
  - どちらでもない
  - どちらかといえばこわい
  - こわい
- がん検診は、がんの早期発見・早期治療につながる検査だと思いますか。(1つのみ)
  - そう思う
  - どちらかといえばそう思う
  - どちらでもない
  - どちらかといえばそう思わない
  - そう思わない
- 大腸がん検診の受診間隔は、1年に1回を推奨していますが、ご存知でしたか。(国の指針に準じて、川西町でも同様に推奨しています。)
  - 知っていた
  - 知らなかった
- がん検診を受ける場合、あなたにとって受けやすい曜日・時間帯・方法についてお尋ねします。

[A] 何月頃がうけやすいですか。

  - ( )月
  - 特にない

[B] 曜日

  - 平日(月・火・水・木・金) \*特に受診しやすい曜日があれば、曜日にも○をしてください。
  - 土日祝日

[C] 時間帯

  - 午前(8時~12時台)
  - 午後(13時~15時台)
  - 夕方(16時~18時台)
  - 夜間(19時以降)

[D] 方法

  - 集団検診(集団検診とは、他のがん検診も同時に受診できるセット検診方式です。)
  - 個別検診(大腸がん検診のみを単独で実施し、保健センターに提出する方式です。)
- 自由記入

\*ご協力ありがとうございました。

## アンケート用紙2

### アンケートのお願い

40歳から69歳の方で大腸がんを申し込まれた方にお伺いしています。

氏 名			
生年月日	昭和 年 月 日	性別	男 ・ 女

●該当する数字に○をつけてください。

1. 大腸がん検診は何で知り、受けましたか。(複数回答可)

- ① がん検診のご案内(4月にご自宅に郵送したもの)
- ② 大腸がん検診のお知らせ(9月にご自宅へ郵送したもの)
- ③ 町のホームページ
- ④ 広報川西
- ⑤ その他 ( )

2. 大腸がん検診を受けた理由をお答えください。(複数回答可)

- ① 自分自身の健康管理のため
- ② 大腸がんの早期発見のため
- ③ 大腸がん検診の案内がきたから
- ④ 町が実施している検診に含まれていたから
- ⑤ 家族や友人に勧められたから
- ⑥ 大腸がんが気になる年齢になったら
- ⑦ 周囲にがんになった人がいるから
- ⑧ その他 ( )

3. がんについてどのようなイメージをもっていますか。(1つのみ)

- ① こわくない
- ② どちらかといえばこわくない
- ③ どちらでもない
- ④ どちらかといえばこわい
- ⑤ こわい

4. がん検診は、がんの早期発見・早期治療につながる検査だと思いますか。(1つのみ)

- ① そう思う
- ② どちらかといえばそう思う
- ③ どちらでもない
- ④ どちらかといえばそう思わない
- ⑤ そう思わない

5. 自由記入

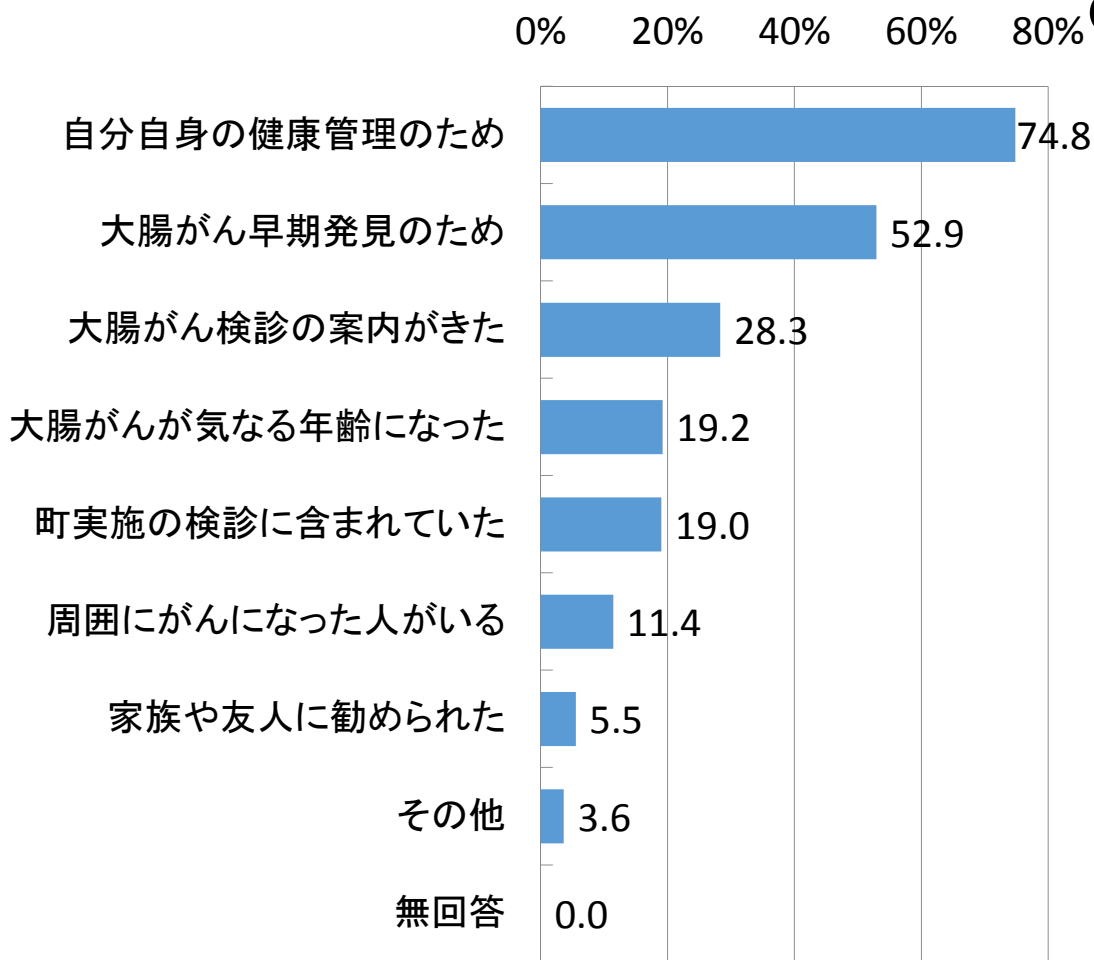
--

\* ご協力ありがとうございました。検診当日にご提出ください。 \*

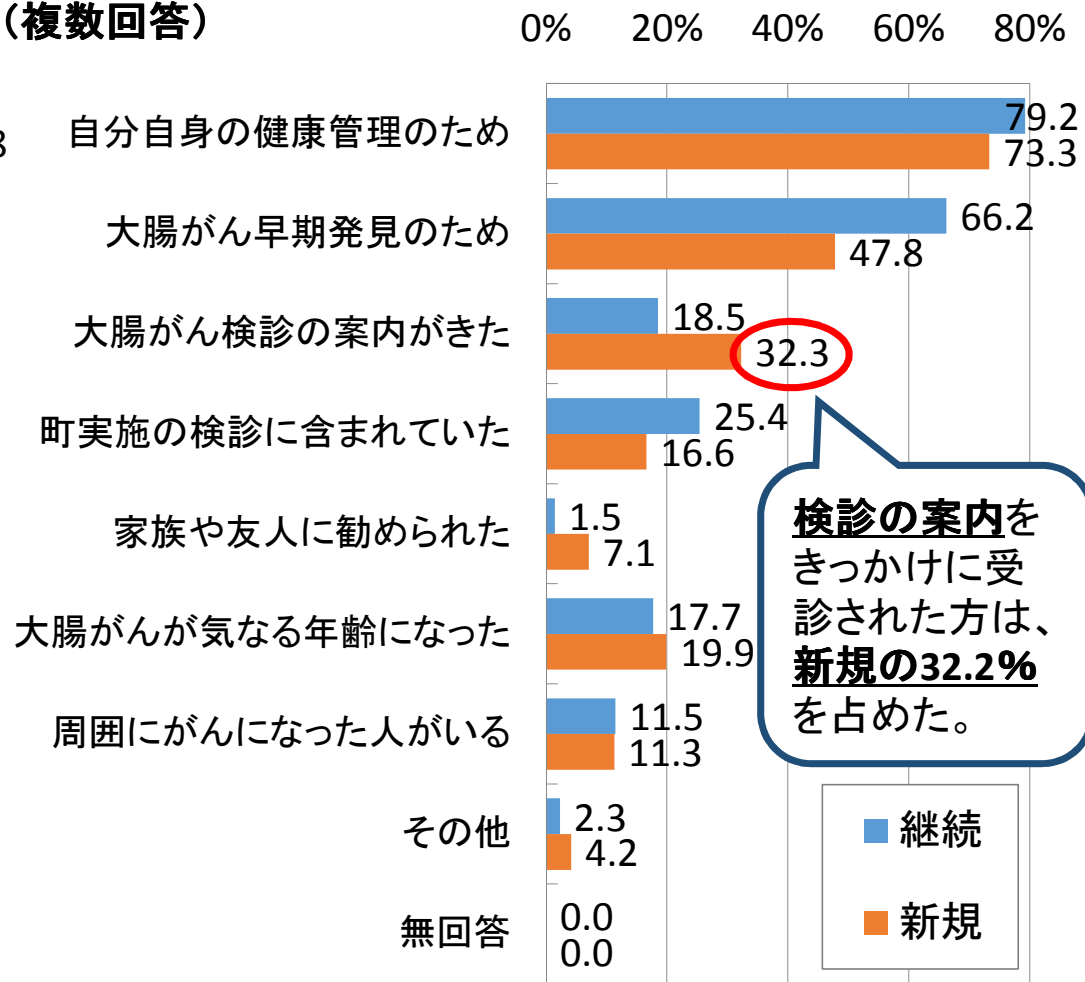


# ●がん検診に関するアンケート調査結果①

【大腸がん検診を受けた理由(複数回答)】



【図 大腸がん検診を受けた理由(受診状況別)  
(複数回答)】

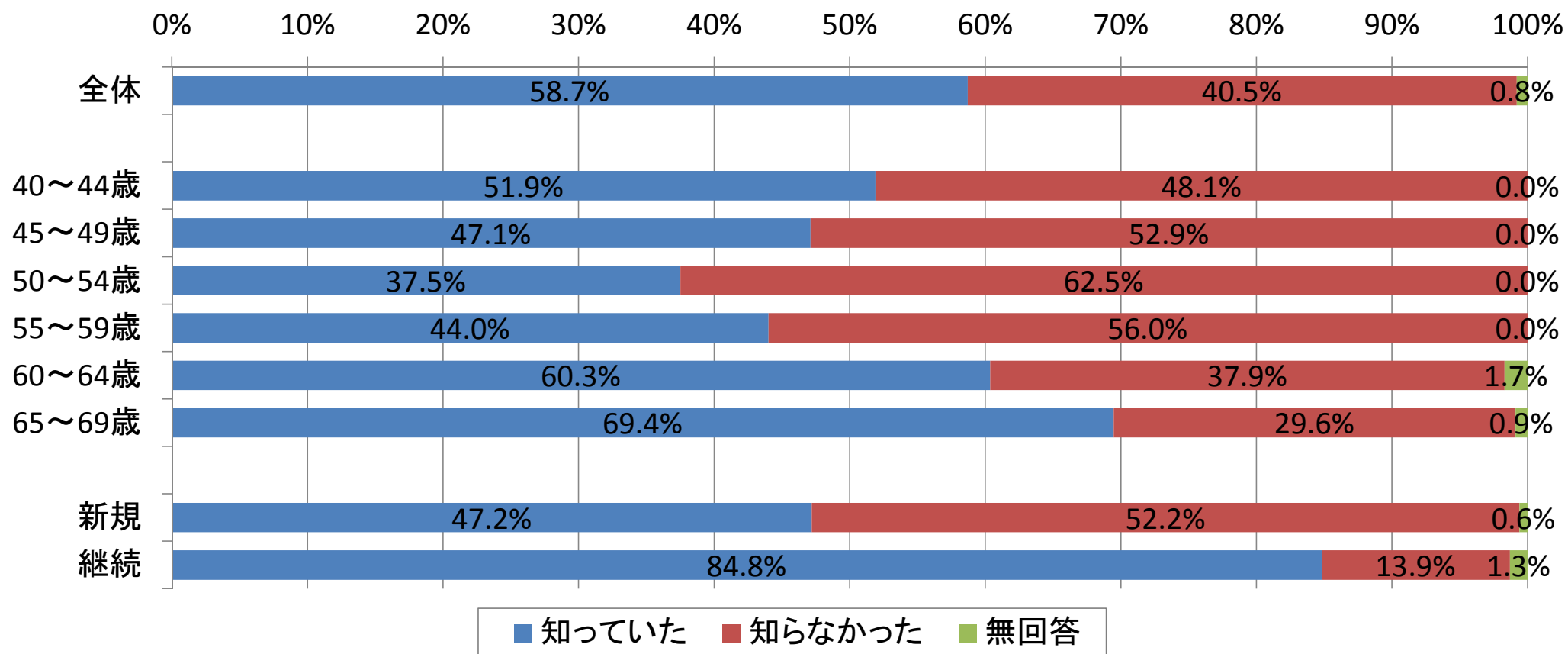


検診の案内を  
きっかけに受  
診された方は、  
**新規の32.2%**  
を占めた。

■ 継続  
■ 新規

# ● がん検診に関するアンケート調査結果②

【図 大腸がん検診の受診間隔(1年1回)をご存じですか】



## ●まとめ

### ★結果・考察

- コール・リコールは、受診者の増加に効果があり、特に40歳代の若い世代の受診行動につながりやすいと考えられる。
- がんについて、“こわい”イメージを持っている方が多い。早期発見・早期治療をすれば、治癒することを啓発していく必要がある。
- 大腸がん検診の受診間隔について、1年に1回は受診が推奨されていることを、若い世代の半数以上が知らない。